

安全データシート (SDS)

作成日：2004年12月8日

改定日：2023年3月28日

【1.化学品及び会社情報】

化学品の名称	マグネサイト
会社名	ソブエクレ株式会社
住所	名古屋市港区新船町2-1-4先
電話番号	052-654-1333
FAX番号	052-654-1260
緊急連絡電話番号	052-654-1333
推奨用途	一般工業用
使用上の制限	特になし

【2.危険有害性の要約】

GHS分類

物理化学的危険性	爆発物 可燃性ガス エアゾール 酸化性ガス 高压ガス 引火性液体 可燃性固体 自己反応性化学品 自然発火性液体 自然発火性固体 自己発熱性化学品 水反応可燃性化学品 酸化性液体 酸化性固体 有機過氧化物 金属腐食性物質 鈍性化爆発物	区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 分類できない 区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない
健康有害性	急性毒性（経口） 急性毒性（経皮） 急性毒性（吸入：気体） 急性毒性（吸入：蒸気） 急性毒性（吸入：粉じんまたはミスト） 皮膚腐食性／刺激性 眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 生殖毒性・授乳に対する又 授乳を介した影響 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 特定標的臓器毒性（反復ばく露） 誤えん有害性	分類できない 分類できない 区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない
環境有害性	水生環境有害性 短期（急性） 水生環境有害性 長期（慢性） オゾン層への有害性	分類できない 分類できない 分類できない
ラベル要素	対象外	

【3.組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名	マグネサイト (Magnesite)
化学式	MgCO ₃
CAS番号	546-93-0
官報公示整理番号	対象外 (天産品)
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	データなし
濃度又は濃度範囲	データなし

【4.応急措置】

吸入した場合	大量の粉塵が発生して、気管支に刺激がある場合には、速やかにその場所から離れてきれいな空気を吸い込むと、咳払い・痰・くしゃみ・呼吸困難は解消する。大量の粉塵を吸入した場合や、気分が悪い時は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	皮膚が乾燥した場合には、通常に加湿クリームを使う。傷に粉末がふれた場合には、中性洗剤か水で洗浄する。刺激はほとんどないがもし刺激等があれば、医師の診断を受ける。
目に入った場合	直接目に入ると刺激痛がある。速やかに水で洗い流す。洗浄後も痛みや目の赤みがとれない場合には、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	特に悪影響はないので、処置の必要はない。
予想される急性症状及び遅発症症状	データなし
最も重要な兆候及び症状	データなし

【5.火災時の措置】

消火剤	この製品自体は、燃焼しない。 周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤	特になし
火災時特有の危険有害性	火災時に刺激性もしくは有害なヒュームやガスを放出する。
特有の消火方法	移動可能な容器は安全な場所に移す。 移動不可能な容器は周囲を水噴霧で冷却する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	周辺の火災消化作業に適切な保護具（呼吸用保護具・防護服）を着用する。
特有の危険有害性	不燃性。火災時に刺激性あるいは有毒なフュームやガスを放出する。
特有の消火方法	特になし

【6.漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業時には、防塵マスク（国家検定合格品）を着用する。 作業場所に関係者以外の立入を禁止する。 必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項	粉塵が飛散しないように注意する。
回収、中和	作業場に漏洩した場合には、ショベルで回収あるいは掃除機で吸引する。製品がきれいで乾燥していれば適当な容器に入れて廃棄する。 床の水洗は、床が非常に滑りやすくなるので好ましくない。 漏洩した粉末がすでに濡れている場合には、粉がなくなるまで水で完全に洗浄する。
封じ込め及び浄化の方法・機材	危険でなければ漏れを止める。漏出物は容器に掃き入れ回収する。
二次災害の防止策	床面に残ると粉塵が発生したり、すべる危険性があるので、こまめに回収する。

【7.取扱い及び保管上の注意】

取扱い	技術的対策 局所排気・全体換気 安全取扱い注意事項	必要に応じて防塵マスク、防塵眼鏡を着用する。 必要ならば粉塵濃度を推奨暴露限界値以下に保つために、局所排気設備を設置または全体換気を適切に行なうことが望ましい。 酸と反応して炭酸ガスを発生する。又、濡れると凝固することがあるので、濡らさない様にする。
保管	技術的対策 混触危険物質 保管条件 容器包装材料	粉塵の発生を防止し、倉庫内でパレット上にて保管する。 酸から離しておく。 粉が付着していると滑りやすいので荷崩れに注意する。 特になし

【8.暴露防止及び保護措置】

管理濃度	設定されていない。	
許容濃度(暴露限界値、 生物化学的暴露指標) 日本産業衛生学会(2021年度)	第3種粉じん 吸入性粉じん 2mg/m ³ 総粉じん 8mg/m ³	
設備対策	粉塵が作業場所を汚染しないように、設備の密閉化・局所排気装置の設置または全体換気を適切に行なうことが望ましい。	
保護具	呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具	推奨暴露限界値を超える粉塵濃度の場合、承認された防塵マスクを着用する。 必要に応じて適切な保護手袋を使用する。 必要に応じて適切な安全メガネを使用する。 必要に応じて適切な保護衣を使用する。
衛生対策	取り扱い後は手を洗うこと。	

【9.物理的及び化学的性質】

物理状態、色	灰白色粉末
臭い	無臭
融点/凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	350℃
pH	9.5(5%スラリー水溶液)
動粘性率	データなし
溶解度	0.01g/100g(水 20℃)
n-オクタノール/水分係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	2.95
相対ガス密度	データなし
粒子特性	平均粒径 30~40 μm (レーザー回折法) 平均粒径 25~30 μm (X線透過式)

【10.安定性及び反応性】

反応性・化学的安定性	常温・常圧下で安定。
危険有害反応可能性	特になし
避けるべき条件	粉塵の拡散。
混触危険物質	酸
危険有害な分解生成物	特になし

【 11.有害性情報 】

急性毒性	データなし
皮膚腐食性／刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データなし
呼吸器感受性又は皮膚感受性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性、単回ばく露	データなし
特定標的臓器毒性、反復ばく露	肺が冒されることがある。
誤えん有害性	データなし

【 12.環境影響情報 】

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有毒性	データなし

【 13.廃棄上の注意 】

残余廃棄物 汚染容器及び包装	一般産業廃棄物として地方自治体の基準に従うこと。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処置を行う。
-------------------	---

【 14.輸送上の注意 】

国連番号	該当なし
国連分類	該当なし
海洋汚染物質	非該当
国際規制 海上・航空規制情報	非危険物
国内規制 陸上規制情報	非危険物
海上・航空規制情報	非危険物
特別の安全対策	水濡れ・転倒・落下・損傷がないように積載し、荷崩れ防止を行う。

【 15.適用法令 】

労働安全衛生法	粉塵障害防止規則（第二条関係別表第一に掲げる作業）
---------	---------------------------

【 16.その他の情報 】

P R T R 法	第 1 種指定化学物質及び第 2 種指定化学物質には該当しません。 （平成20年11月21日に公布された政令に対応）
アスベスト	厚生労働省発布の平成18年8月28日基安化発第0828001号 『天然鉱物中の石綿含有率の分析法について』で示される方法で 石綿含有率0.1重量%を超えていません。

本データシートは、本製品の工業的な一般的な取扱いについて最新の情報を集めたものでありますが、完璧なものではありません。又、本データシートは、保証書ではありません。新たな情報を入手した場合は追加又は訂正されることがあります。本製品に他の化学物質を混合したり、特殊な条件で使用するときは、ご需要家各位が安全性の評価を実施し、自らの責任において個々の取扱い等の実態に応じた適切なる措置をお取り下さるようお願い致します。